
妻の復讐

麻未夢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

妻の復讐

【Nコード】

N99580

【作者名】

麻未夢

【あらすじ】

事故で身体の自由を奪われた『俺』は、献身的なまでに尽くしてくれる妻の事が怖くて仕方なかった。

俺は事故で身体の不自由を失った。命があるだけマシだと言われても、それもそうだな、なんて笑える筈もない。

俺は唯一自由に動かすことができる眼球で、部屋の中を見回した――
とは言っても首を動かすことができない以上、その視界は僅かなものだ。

「あなた、どうかしたの？」

視界の端から、妻が顔を覗かせてくる。俺はそれに何でもないと告げるため、眼球を左右に動かした。それが、俺たち二人の間で決めたサインの一つだ。

妻は「そう」と呟いて、また俺の視界から姿を消す。顔を横に向けることさえできれば、妻が何をしているのかが解るのに、俺にはたったそれだけの事を確かめる術すら無い。

俺は、妻が怖かった。事故に遭う前には、一度も覚えたことのない感覚だ。

俺の妻は、良妻を絵に描いたような女だった。近所の評判も上々で、俺の両親や妹からの信頼も厚い。

他人から見れば、そんな女を妻に持つ俺は羨みの対象以外の何者でもなく、俺が今、その妻を恐れているなんて事を知る由もなければ、知ったところで、つまらないジョークだと一笑に付すのがオチだろう。

「あなた、私ちよつと買い物に行ってきますけど、何かしておいて欲しいことはあるかしら？」

視界の外から声をかけられ、俺はさつきと同じように、眼球を左右に動かした。

視界の隅に、ベッドの脇に置いてある椅子から立ち上がった妻の姿が映り、そして部屋を出ていく背中が俺の視界の中から消えるまで、俺は片時も妻から目を離さずにいた。

妻がこの部屋にいない、この時間が唯一、俺が心を落ち着けていられる時間だ。

—— いつ、どんな復讐をするつもりなんだろう……。

良妻の仮面の下で、あいつが毎日泣いて暮らしていた事なんて、誰も知りはない。

俺は決して、服で隠れない場所に傷や痣をつけて、他人の関心を引くような真似は一度だってしたことが無かったからだ。

それでも一度、腹立ち紛れに首を絞めて痣を付けたことがあった。だが、妻は俺が何も言うまでもなく、その痣が消えるまで首からスカーフを外すことはなかった。

端から見た俺たち夫婦は、理想の夫婦に映ったかもしれない。だが、実体はそんなもんだ。

だから、俺は今、妻が怖くて仕方ない。

今の俺は無抵抗で、あまりにも無防備だ。妻の細腕で俺を絞め殺すことだって、そう難しくはないだろう。

いいや、そんな手を使わなくても、介護中の事故を装って、何の疑いも掛けられる事無く、俺を殺す手段はいくらでもあるんだ。

今の俺は、文字通り『まな板の上の鯉』だ。ただおとなしく、妻の『復讐』という名の調理を待つ身に過ぎなかった。

—— いっそ、さっさと殺せばいいじゃないか。

毎日のように暴力を振るい続けた俺の下世話なんか、さっさと放り出したいだろう。

なのに、文句一つ言わないで、それどころか笑みすら浮かべて、指先一つ動かせない俺を生かすために俺に尽くし続ける妻が一体何を考えているのか、俺にはサッパリ解らなかった。

「ただいま」

しばらくして、妻が買い物から帰ってきた。俺の視線の中で、俺

に微笑みかける妻が、俺は怖くて仕方ない。

—— いつ、どうやって、俺を殺すつもりだ？

視線で問いかけたところで通じるはずもない。妻はさっきと同じように、ベッド脇の椅子に腰を落ち着け、どうやら本を読んでいるらしい。

規則正しく聞こえる本のページを捲る音を聴きながら、俺はただ天井を見据え、妻の気配を自由にしない全身で探し続ける。

こんな人生が、一体あと何年続くんだろう。

—— …… いっそ、さっさと殺してくれ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9958o/>

妻の復讐

2010年12月1日22時19分発行